

2019年2月28日

成田空港で顔認証技術を用いた 新しい搭乗手続き「OneID」がスタートします 空港における最先端技術によるイノベーション！！

成田空港では、2020年春から、世界最先端の顔認証技術を用いた新しい搭乗手続き「OneID」がスタートします。

お客様は、チェックイン等、空港での最初の手続き時に顔写真を登録すると、その後の手続き（手荷物預け、保安検査、搭乗ゲート）において、従来必要であった搭乗券やパスポートを提示することなく“顔パス”で通過できるようになります。保安検査場では、従来搭乗券確認を行っていた入口をウォークスルーで通過した後、保安検査に進むことができるようになりますとともに、搭乗ゲートでは、ウォークスルーで通過できるようになります。

お客様にとりましては搭乗までの煩わしい手続きが軽減し、スムーズにご搭乗いただけるようになりますとともに、手続きにおける待ち時間が短縮することが期待されます。

また、最先端の顔認証システムを活用することにより、各手続きにおける本人確認精度が向上し、テロ等への未然防止にも一層万全を期すことができるようになります。

加えて、労働力不足が深刻化するなか、手続きの自動化によりスタッフの省力化、省人化が図られます。この新しい旅のスタイルは世界でも取り組みがはじまったばかりであり、国内では成田空港が先駆けて導入いたします。是非ともご期待ください。

なお、対象便等、運用方法の詳細については、今後、参加航空会社と協議の上決定いたします。

OneIDの手続き（イメージ）



■ 供用日

2020年春（予定） 導入機器の台数等、詳細は改めてお知らせいたします。

■ OneID導入予定ターミナル及び参加航空会社

第1ターミナル南ウイング： 全日本空輸株式会社

第2ターミナル： 日本航空株式会社

※ 参加航空会社・導入ターミナルについては、順次拡大していく予定です。

<OneIDの仕組み>

①チェックイン



IDの生成



※パスポートや搭乗券は、空港到着後、最初のタッチポイントのみ提示し、その後は顔認証で通過が可能

最初のチェックポイントで、お客様ご自身の同意を得た上で
①パスポートのICに格納されている写真と搭乗者本人が一致していることを確認、次に ②搭乗者本人の顔写真、パスポート情報、搭乗情報を紐づけ、OneID認証システムに一時的に格納し保持する。

②手荷物預け入れ（本人確認）



ID生成後、手荷物預け入れでは、顔写真撮影が行われ、One ID認証システムへ照会される。システム内で本人確認が行われ、パスポートや搭乗券を提示せずに手荷物預け入れ手続きを進めることができる。

③保安検査場入口（搭乗券確認）



保安検査場入口では、歩きながら顔写真撮影が行われ、One ID認証システムへ照会される。システム内で本人確認が行われ、お客様は**ウォークスルーで通過**し、保安検査に進むことができる。

④搭乗ゲート（本人確認）



搭乗ゲートでは、歩きながら顔写真撮影が行われ、OneID認証システムへ照会。システム内で本人確認が行われ、お客様は**ウォークスルーで通過**できる。

搭 乗